

|      |          |      |    |      |   |      |      |
|------|----------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名  | 教育方法・課程論 |      |    |      |   | 単位   | 2.0  |
| 担当教員 | 眞有 澄香    |      |    |      |   |      |      |
| 授業形態 | 講義       | 開講期間 | 後期 | 配当年次 | 2 | 授業番号 | 3272 |

●授業のテーマ

教育方法と教育課程

●到達目標

日本の教育課程や方法論について理解する。教育課程やその方法論に関する興味を深め、学校教育についての問題意識を高める。さらに、教職への意欲を高め、教育や子どもの成長に関して自らの見解を述べることができる。

●学習内容(授業概要)

現行の教員免許制度下では、これまで以上に教育課程や教育実践に関する内容を扱うことが求められている。それは、学校教育が人類の未来を切り開いていく公的な責任を負っているからであり、「総合的な学習の時間」の新設や「学校設定の科目」など、近年の教育改革推進の動向に対応するためだからである。本講義では、教育課程の原理・原則について学び、「豊かな心」を培い「生きる力」を育成する教育環境とは何かを考察する。さらに、教育課程の編成や実施に際する留意点についての理解を深め、視聴覚等のメディアを活用する課題研究を取り入れた、工夫を積んだ教育方法の創造や実践を習得することを目指す。

●学習内容(授業計画)

1. 教育課程の今日的課題
2. 教育課程の歴史的展開
3. 教育課程行政の概略
4. 教育目的・目標と教育課程編成
5. 小・中・高等学校の教育課程構成
6. 障害児教育課程の構成
7. 学習指導の原理
8. 教育課程編成と魅力ある授業デザイン
9. 視聴覚教育とメディアの活用
10. 情報活用能力とメディアリテラシーの重要性
11. 授業分析について
12. 教育評価について
13. 総合的な学習の時間の取り扱い
14. 総合学習の今日的意義
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

授業前には、テキストを精読しておくこと。授業後には、抜き打ちで行われる小テストの準備をしておくこと。

●成績評価方法・基準

授業時の小テスト(100%)によって評価する。

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：「実践に活かす教育課程論・教育方法論」、著者名：山口満他、出版社：学事出版、販売先：（株）D○

●参考文献／その他

授業時に適宜指示する。

●履修上の注意

理由なく遅刻や欠席をする者には受験資格を与えない。また、教職志望者にふさわしい意欲と基礎学力がある者に限る。